

# 最近の医療費の動向について (前回報告の補足)

# 1 新型コロナの診療報酬上の特例の影響について

# 令和4年度 医療費の動向 ～概算医療費の集計結果～

\* 概算医療費とは  
医療費の動向を迅速に把握するために、医療機関からの診療報酬の請求（レセプト）に基づいて、医療保険・公費負担医療分の医療費を集計したもの。労災・全額自費等の費用を含まず、国民医療費の約98%に相当。

- 令和4年度の概算医療費は46.0兆円、対前年同期比で4.0%の増加、対令和元年度比で5.5%の増加。  
なお、対令和元年度比の5.5%の増加は3年分の伸び率であり、1年当たりに換算すると1.8%の増加。
- 令和4年度を受診延日数は、対前年同期比で2.0%の増加、1日当たり医療費は2.0%の増加。
- 令和4年度の診療種類別では、いずれの診療種類別も対前年同期比でプラス、対令和元年度比でもプラスとなった。

診療種類別 医療費の対前年伸び率（対前年同期比）（%）

	診療種類別 医療費の対前年伸び率（対前年同期比）（%）				令和4年度 対令和元年度比	〔1年当たりに 換算した 伸び率〕
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
総計	2.4	-3.1	4.6	4.0	5.5	(1.8)
入院	2.0	-3.0	2.8	2.9	2.6	(0.9)
入院外	2.0	-4.3	7.5	6.3	9.3	(3.0)
歯科	1.9	-0.8	4.8	2.6	6.7	(2.2)
調剤	3.6	-2.6	2.7	1.7	1.8	(0.6)

# 令和4年度 医療費の動向 <概観>

- 令和3年度に引き続き令和2年度の減少の反動や、新型コロナウイルス感染症の患者が増えた影響等があり、令和4年度の概算医療費は46.0兆円、金額で1.8兆円、伸び率で4.0%の増加となっている。また、その内訳を見ると受診延日数は2.0%の増加、1日当たり医療費は2.0%の増加となっている。
- 新型コロナウイルス感染症の影響の少ない令和元年度と比べると、医療費は5.5%の増加となっており、その内訳を見ると、受診延日数は▲3.6%と減少し、1日当たり医療費は9.4%増加している。

(兆円、%)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
概算医療費	42.2	42.6	43.6	42.2	44.2	<u>46.0</u>	令和4年度 対元年度比
対前年増減額	0.9	0.3	1.0	▲ 1.3	2.0	<u>1.8</u>	
伸び率 (①)	2.3	0.8	2.4	▲ 3.1	4.6	<u>4.0</u>	
(休日数等補正後)	(2.3)	(0.9)	(2.9)	(▲ 3.7)	(4.7)	※1 ( <u>3.9</u> )	
受診延日数	▲ 0.1	▲ 0.5	▲ 0.8	▲ 8.5	3.3	<u>2.0</u>	
1日当たり医療費	2.4	1.3	3.2	5.9	1.3	<u>2.0</u>	▲ 3.6
人口増の影響 (②)	▲ 0.2	▲ 0.2	▲ 0.2	▲ 0.3	▲ 0.5	▲ 0.4	令和4年度 対元年度比
高齢化の影響 (③)	1.2	1.1	1.0	1.1	1.1	0.9	
診療報酬改定等 (④)		▲ 1.19	▲ 0.07	▲ 0.46	※2 ▲ 0.9	▲ 0.94	
上記の影響を除いた 概算医療費の伸び率 (①-②-③-④)	1.3	1.1	1.6	▲ 3.4	5.0	4.5	

※ 1 令和4年度の休日数等の対前年度差異は土曜日が1日少なく、休日でない木曜日が2日少なく、連休数が4日少なかったことから、伸び率に対する休日数等補正は+0.04%。

※ 2 令和3年度の概算医療費を用いて、薬価改定の影響を医療費に対する率へ換算したもの。

(参考) 主傷病がCOVID-19であるレセプト(電算処理分)を対象に医療費を集計すると、令和4年度で8,600億円(全体の1.9%)程度。

# 令和4年度概算医療費における新型コロナの診療報酬上の特例の影響について

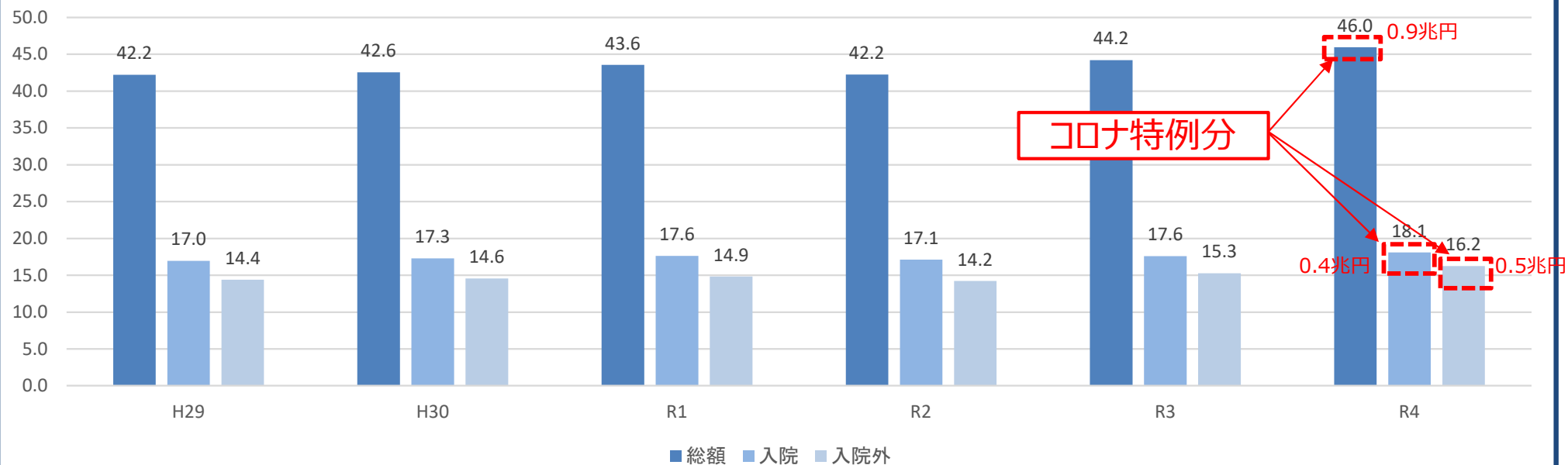
	総額		
		(再掲) 入院	(再掲) 入院外
令和4年度概算医療費	46.0兆円	18.1兆円	16.2兆円
うち特例分	0.9兆円	0.4兆円	0.5兆円
特例が占める割合	1.9%	2.2%	2.8%

※ 入院は、入院時食事療養費・入院時生活療養費を含む。総額は、調剤分及び歯科分の医療費や療養費等を含む。

※ 特例分は、新型コロナの診療報酬上の特例措置による増額分を、医科・歯科・調剤NDBデータについて合計したもの。

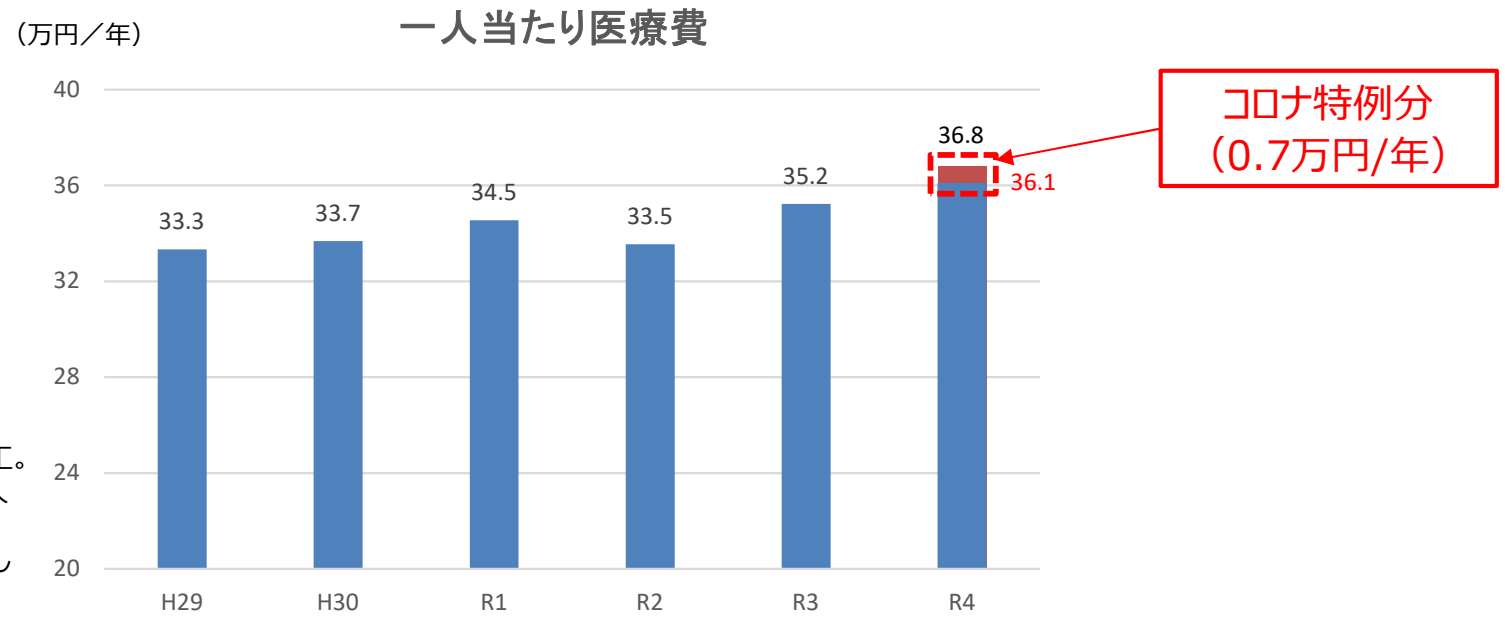
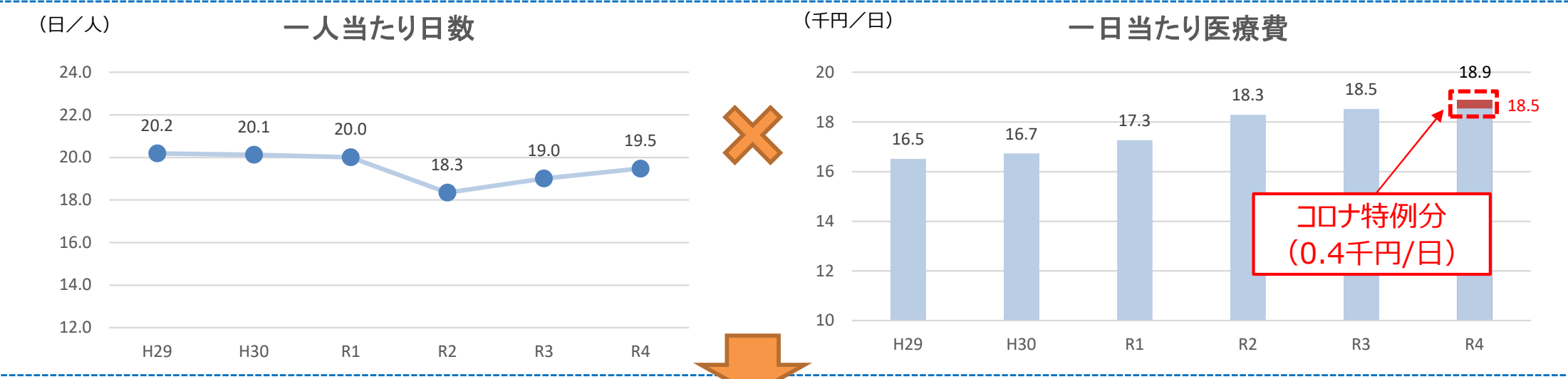
※ この特例分は、「令和4年度 医療費の動向」で示した「主傷病がCOVID-19であるレセプト（電算処理分）を対象に医科医療費を集計すると、令和4年度で 8,600億円（全体の1.9%）程度」とは異なるもの。具体的には、「令和4年度で 8,600億円（全体の1.9%）程度」には、新型コロナ患者に係る医療費のうち特例措置（特例分）ではない医療費（初・再診料、入院基本料、検査料、薬剤費など）も含まれており、また、主傷病がCOVID-19ではない患者に係る特例分（疑い患者等に係る特例分）は含まれていない。

## 医療費



# 令和4年度医療費等について（総額）

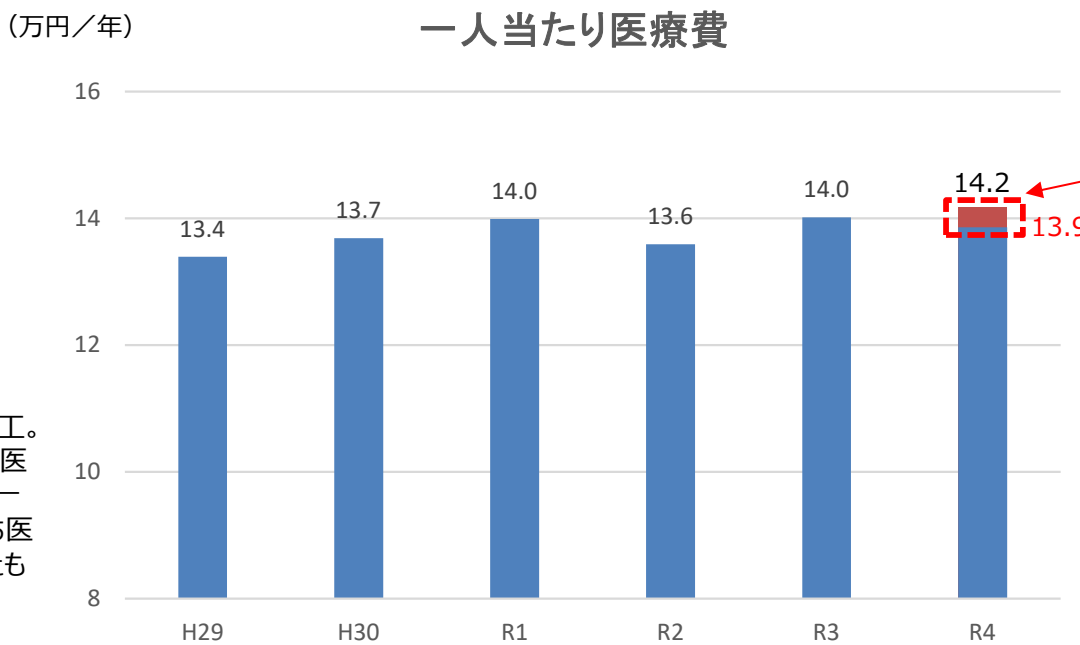
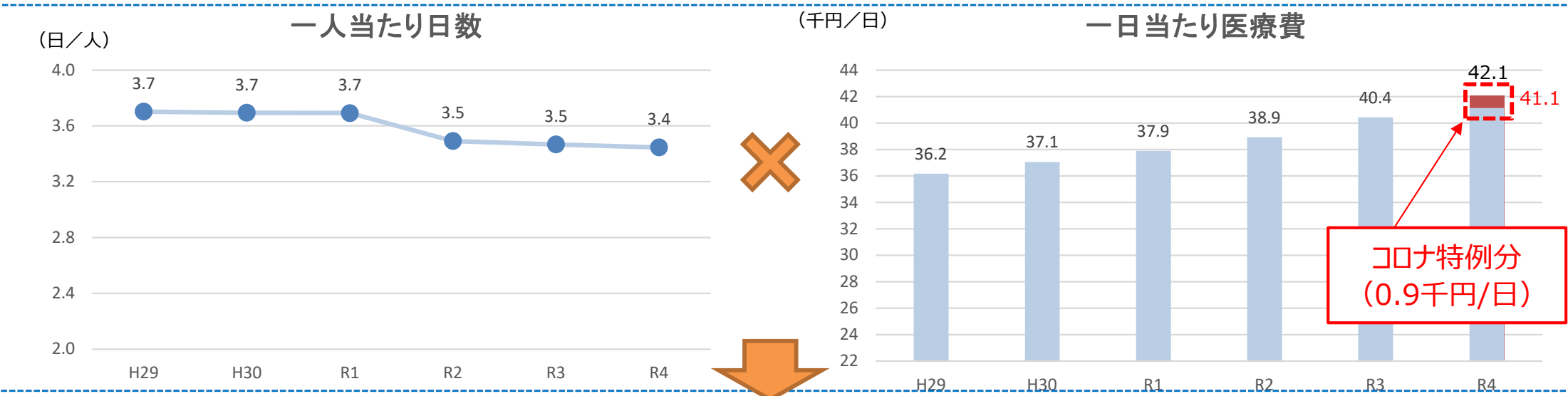
- 令和4年度の一人当たり医療費（総額）には、コロナ特例分0.7万円が含まれている。
- 対令和元年度比の令和4年度の一人当たり医療費は、34.5万円 → 36.8万円（+6.5%（1年当たり+2.1%））であるが、コロナ特例分を除くと34.5万円 → 36.1万円（+4.5%（1年当たり+1.5%））となる。



(注1) 「令和4年度 医療費の動向」より加工。  
 (注2) 「一人当たり日数」は、受診延日数を人口で除したものである。「一日当たり医療費」は、概算医療費を受診延日数で除したものである。

# 令和4年度医療費等について（入院）

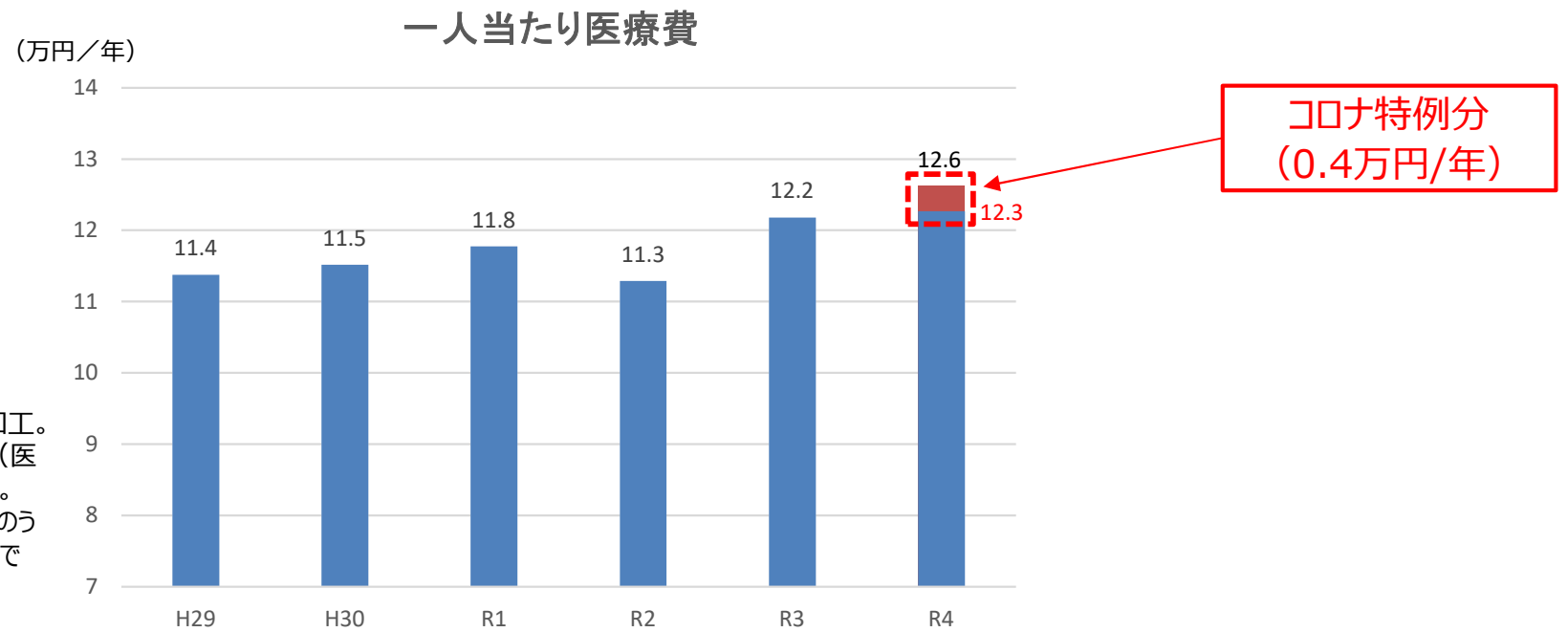
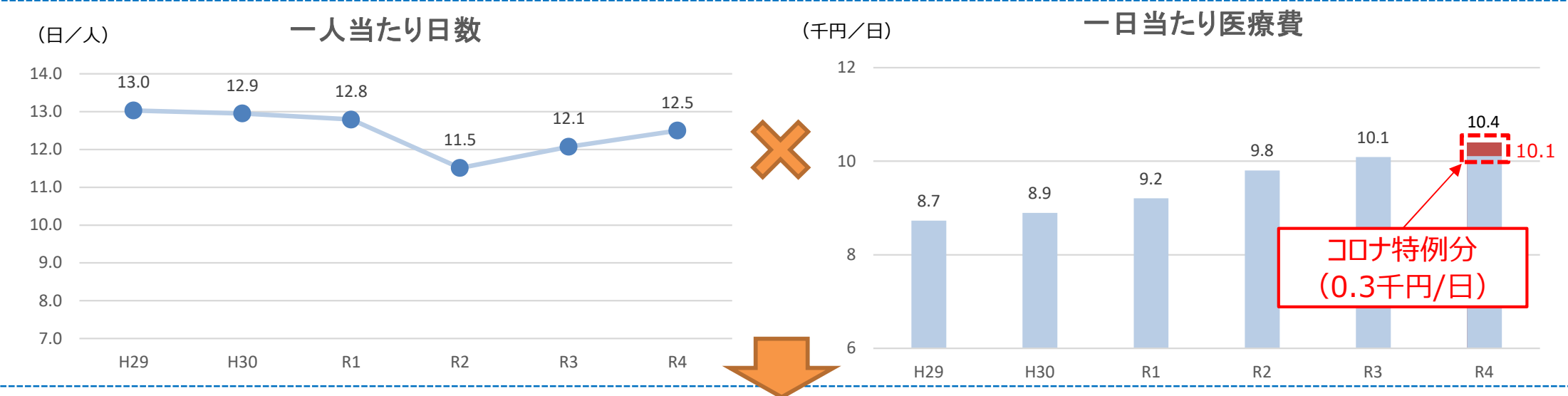
- 令和4年度の一人当たり医療費（入院）には、コロナ特例分0.3万円が含まれている。
- 対令和元年度比の令和4年度の一人当たり医療費は、14.0万円 → 14.2万円（+1.4%（1年当たり+0.4%））であるが、コロナ特例分を除くと14.0万円 → 13.9万円（-0.9%（1年当たり-0.3%））となる。



(注1) 「令和4年度 医療費の動向」より加工。  
 (注2) 「一人当たり日数」は、受診延日数（医科入院）を人口で除したものである。「一日当たり医療費」は、概算医療費のうち医科入院に係る分を受診延日数で除したものである。

# 令和4年度医療費等について（入院外）

- 令和4年度の一人当たり医療費（入院外）には、コロナ特例分0.4万円が含まれている。
- 対令和元年度比の令和4年度の一人当たり医療費は、11.8万円 → 12.6万円（+7.3%（1年当たり+2.4%））であるが、コロナ特例分を除くと11.8万円 → 12.3万円（+4.2%（1年当たり+1.4%））となる。



(注1) 「令和4年度 医療費の動向」より加工。  
 (注2) 「一人当たり日数」は、受診延日数（医科入院外）を人口で除したものである。「一日当たり医療費」は、概算医療費のうち医科入院外に係る分を受診延日数で除したものである。



## 2 不妊治療の保険適用による影響について

## 令和4年4月に保険適用となった不妊治療に係る診療行為の医療費等

- 新たに保険適用となった不妊治療に係る医療費は令和4年4月から令和5年3月で897億円。  
令和4年4月から令和5年3月の概算医療費46.0兆円に占める割合は約0.20%。

### 【医療費】

(単位：億円)

	令和4年度												
	4-3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
医療費	897	26	58	79	83	74	84	88	88	77	62	89	90
うち被用者保険	809	23	52	71	75	67	76	80	79	70	56	80	81
うち国民健康保険	87	3	6	8	8	7	9	9	8	7	6	8	8

### 【レセプト件数】

(単位：千件)

	令和4年度												
	4-3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総計	1,255	81	87	99	112	105	110	116	113	101	104	112	115
うち被用者保険	1,136	73	78	89	101	95	99	105	102	92	94	101	105
うち国民健康保険	118	8	9	10	11	10	11	11	11	9	9	10	10

(注) 令和4年4月～令和5年3月診療分の医科NDBデータから集計

## 不妊治療に係る診療行為の医療費の内訳について

- 不妊治療に係る診療行為の医療費は897億円で、そのうち入院外が多く、879億円となっており、特に入院外の診療所では776億円となっている。

(億円)

	入院・入院外 計		
		入院	入院外
医療機関の種類 計	897	17	879
病院	113	9	104
診療所	784	8	776

(注) 令和4年4月～令和5年3月診療分の医科NDBデータから集計